

令和元年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	諏訪地域「信州子どもカフェ」推進事業		
事業主体 (連絡先)	諏訪圏域子ども応援プラットフォーム運営委員会 (事務局 NPO 法人信州協働会議 茅野市ちの 3053)		
事業区分	(1)地域協働の推進		
事業タイプ	ソフト		
総事業費	555,593	円 (うち支援金 :	444,000 円)

事業内容

子どもカフェ等の居場所運営者、地域住民への周知と意識向上のための講座等の開催。

1、「こどもしょくどう」上映会

こどもを取り巻く課題を取り上げた映画の上映会の実施により、居場所の必要性を周知。

2、学習支援充実のための講演会の開催

居場所での学習支援の在り方やノウハウを学ぶ。

3、相談機能の充実のためのワークショップの開催

こども支援をする大人の相談機能の充実のための研修。

4、情報発信力講座

チラシ作り、SNS 講座を通し運営者の情報発信の強化。

5、講演会は中止となる。



【情報・相談研修会の様子】

【目標・ねらい】

- ①信州子どもカフェの周知、啓発
- ②分科会連携での課題解決による活動促進支援
- ③こども支援の人材育成支援
- ④ネットワーク強化

事業効果

①上映会では大人とこども合わせて99名の参加があり、研修会には登録団体以外の地域住民が多数参加し、居場所の必要性の周知啓発ができた。

②各分科会ごとの専門的な研修会ができ、運営者などの課題解決を支援でき、それぞれが連携してより活動の幅を広げた。今まで居場所に接点がなかった地域住民が信州子どもカフェの活動に参加することも増えた。

③研修会を通し、登録団体所属の方やそれ以外の地域住民のこども支援の人材育成ができた。

④研修会ごとに地域の子どもカフェ等の情報交換や交流に努め、つながりが強化された。

※自己評価【B】

【理由】信州子どもカフェの運営者や、その他の地域住民への活動促進支援ができ、周知・啓発ができた。多機能の居場所の必要性やネットワーク構築に貢献。だが、最後の講演会が中止となった。

今後の取り組み

今年度の研修等を通して、それぞれの団体や個人の交流や情報交換が求められ、活動の課題や不安、お互いのノウハウを学び合うことが必要と感じた。信州子どもカフェの推進に取り組むために、定期的な交流の場や、地域への信州子どもカフェ等の活動の周知、啓発を行っていく。

また、これまでに行ってきた研修会の開催への要望も高いが、今後は交流の中で、参加者が主体となり研修会などの企画ができる支援を行っていくことで、地域の力を強化していく。

こどもの育ちの中の課題を地域が見守る体制を作るために、信州子どもカフェなどの居場所同士の連携や、各自治体との連携の中を取り持つ役割として、行政や地元企業とも連携を深め、さらに信州子どもカフェ等居場所の推進を図っていく。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」：予定を上回る効果が得られた 「B」：予定していた効果が得られた

「C」：一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある